

平成 20 年度第 1 回福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業
審査委員会 会議の記録（要旨）

1 日時 平成 20 年 5 月 27 日(水)午後 2 時～ 5 時半

2 場所 練馬区役所西庁舎 9 階 会議室（ 2 ）

3 出席者 委員 8 名（中野委員、饗庭委員、古山委員、増島委員、室地委員、平野委員）
林田委員、仲倉委員は、5 月 26 日にはじめの一步助成部門の審査を行い、
書面にて提出。

地域福祉課長 地域福祉課やさしいまち推進主査

4 傍聴 非公開

5 配付資料

- ・ 資料 1 平成 20 年度福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業審査委員会名簿
- ・ 資料 2 平成 20 年度福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業企画提案一覧
- ・ 資料 3 平成 20 年度事業スケジュール
- ・ 資料 4 公開審査会プログラム案、審査の手引き、審査シート
- ・ 資料 5 各団体応募申込書および企画提案書（事前配布）
- ・ 資料 6 応募企画提案審査ポイント案
- ・ 参考資料 ニュースレター「ふくまち」 6、平成 19 年度福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業報告、平成 19 年度テーマ部門「ねりまっぷミニ」

6 議事

（ 1 ） 審査委員会委員の紹介

（ 2 ） 委員長および副委員長の承認

昨年度に引き続き、中野委員長、饗庭副委員長の体制を承認

（ 3 ） 平成 20 年度事業経過および応募状況等

企画提案 16 事業 （資料 2 のとおり）

（ 4 ） 事業概要およびスケジュール、平成 20 年度の変更点の説明

事務局より、平成 20 年度の募集要項、および募集および審査の変更点について説明

（ 5 ） 公開審査会の進め方および審査方法について

審査のポイントとして、「落とすための審査とせず、できるだけ支援をしていく姿勢で選考する」という点が確認された。

公開審査会の審査が、選考・不選考にかかわらず、各グループの活動や企画を補強し、さらなるチャレンジに導くものであってほしい。そのため、審査委員の意図がわかるよう、事前に審査委員の疑問点・質問を各団体に知らせ、企画提案の課題につい

て共通認識をもって公開審査会に臨んでもらいたい。

各団体の発表時間は5分は短いので、6分に変更。

「はじめの一步部門」の発表にも各審査員からアドバイスのコメントをしたい。
議事を受け、審査方法を整理する。(別添「公開審査の手引き」のとおり)

(6) はじめの一步助成部門審査

選定結果については以下のとおり

	企画提案事業名	グループ名	申請額	適否
1	地域福祉活動参加のポータルサイト = 気楽にお試し =	チームかけだし石神井	5万	適
2	顔の見える関係づくり ~ 歩いていける所に茶話会を ~	澁の会	5万	適
3	ユニバーサル社会を目指す、豊セン	ユニバーサル・コミュニティ豊セン	5万	適
4	練馬におけるユニバーサルデザインの事例調査・見学会「ユニバーサルデザイン具現化プロジェクト」	ナンクルインターナショナルサポート(仮称)	5万	否

不選考の企画について

提案者の思いは伝わるが、現段階では、「地域ニーズの把握」、「多様な区民の参加」、「計画性」の点で評価できない。地域福祉課・まちづくりセンターにおいて、来年度のチャレンジに向けた学習機会の情報提供、仲間づくりの支援等を行ってほしい。

(7) その他応募企画提案の審査ポイント

各企画提案の疑問点等が確認され、各団体に事務局から伝達を行うこととした。

(8) その他

委員より、昨年度に比べ、応募数の伸びが不十分であったことが指摘され、事務局に対して、周知方法等の工夫を求められた。

(9) 次回審査会(公開審査会)

平成20年6月8日(日) 職員研修所 9時半~14時半